

『審査講評』

= 個性生かす作品そろう =

橋本 清子 (元小学校 校長)

今年も虫歯をなくそう、という気持ちを精いっぱい込めて、大牟田市、みやま市の小中学校から五千八百一点もの応募がありました。これも歯科医師会や学校の先生方の、歯の健康に関する心のこもったご指導のたまものと深く感謝いたします。今回の図画・ポスターの審査も募集要項を基に、中村精二さんと私とで意見を交わしながら行いました。

選考の基準として、内容面では、基本的にむし歯の予防だけでなく、歯肉の健康やよくかむことの大切さ、栄養バランスを考えて将来に向かって生活習慣育成が必要なことなどを、明確に呼び掛けているものとししました。表現面では、構図、彩色、標語(ことば)などの面が、独創的で個性的な表現になっているかを観点にして選びました。

①構図 画面の中に、どこに、どんなことを描くかを初めに考えるのが大事です。次に大事なことを中心に、大きく伸び伸びと描いていくことです。人や物も必要なものだけを選んで描くことです。例えば自分だけでいいのか、お医者さん、家族や友達、その他のものも入れるかなども考えて描くようにすることです。

②彩色 構図を考え、下絵を描いたら色を塗りますが、どこをどんな色に塗るかを考えることが大切です。特に、目立たない所を回りと違った色で塗っていくことです。色数もできるだけ少なくします。また、混色し過ぎて濁らないように気お付けることです。

③標語 小学四年生からよく考えた標語が増えました。文字の大きさ、形などに工夫して伝えたい言葉を強調し、自分の言葉で絵とうまく合うように描いていることです。以上のことを基準に、特別賞・天賞を小学生各 学年と中学生から各一点ずつ十四点を選びました。今回特別賞と天賞は、ほとんど差がなく選ぶのに困るほどでした。特別賞の作品について具体的に述べてみます。

(大牟田市教育長賞)

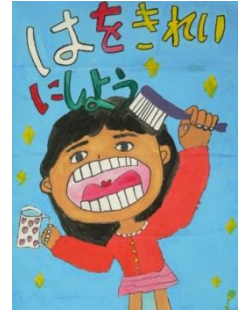
画面全体に描いた顔。大きく開いた口に、しっかりと握った歯ブラシで、むし歯を磨いています。「しっかりと磨こうよ」と呼び掛けている一年生らしい作品です。



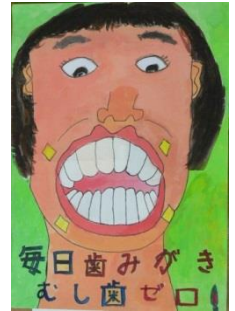
(大牟田市長賞) 「痛くないよ」と下からのぞき込んで歯の治療をする白衣の先生と、心配そうに口を開けている子どもの様子がうまく描けたいい作品です。特に手は伸び伸びと描けています。



(大牟田市学校保健会長賞) 「はをきれいにしよう」の言葉のとおり、真っ白な歯がはっきりと描き込まれています。人物だけでなく、コップや歯ブラシなども取り入れて、バックの青色の中にはっきり見えます。



(福岡県学校歯科医会長賞) 「毎日歯みがき むし歯ゼロ!」という標語が、大きく描いた真っ白で美しい歯でよく分かります。「ほら見てごらん」の言葉が聞こえるようです。



(みやま市長賞) 「歯に感謝」の言葉で“歯を大切に”を表現し、また、周りにいろいろな食べ物(野菜、魚、肉、ご飯など)を並べて、バランスよく栄養を取ろうと訴えているいい作品です。



(大牟田歯科医師会長賞) 「輝く歯 キープ」の言葉通り、ピンクの口とエンゼルでうまく表現しています。歯の字を赤で、他を青で、バックは黄色とうまく配色を考えた高学年らしいバランスの取れた作品になっています。



(福岡県歯科医師会長賞) 「歯の未来を守る」という標語を言葉通り、歯科検診の必要性を訴える内容がうまく表現された作品です。文字の大きさ、色やバックとのバランスが良く、色の塗り方も丁寧で、中学生らしいポスターになっています。五千点を超す応募作品を見るのは大変でしたが、各学年にふさわしく伸び伸びとした個性のある作品が多く、楽しい時間を過ごさせてもらいました。応募した皆さんがポスターを描くことで、自分の歯を大切にすることを学んだことでしょう。



自分が描きたい絵を進んで描けたときに、いいところを見つけてしっかり褒めて、絵を描くことの好きな子に育ててください。来年度のポスターを描く時に、この講評が少しでも参考になれば幸いです。

平成 27 年 6 月 4 日(木曜日) 「有明新報」 掲載